

研究の全体構想

生徒の実態

- 指示されたことに対して、まじめに取り組もうとする生徒が多い。
- 板書されたことを、丁寧にノートに写すことができる。
- 学習課題を主体的に捉え、意欲的に追究する姿が弱い。
- 課題解決に向かって、仲間と共に学ぼうとする姿が弱い。

【学校の教育目標】

自ら学び 逞しく生きる 心豊かな生徒

【めざす生徒像】

自立・共生する生徒

課題に対して自分の考えをもち、自分なりの方法で解決し、確実に習得できる生徒。

恵那市の教科指導の重点

主体的に取り組む
授業づくりをする

- ・生徒が主体的に学習に取り組む態度を養い、学力の向上を図る。
- ・基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図り、思考力・判断力・表現力等を高める授業を展開する。

【研究主題】

仲間と協働し、学びが定着する授業

【研究仮説】

単元で身に付けたい力を明確にし、出口の生徒の姿を具体的に描くことによって、一単位時間ごとの役割を明らかにし、学びを定着することにつながる。生徒にとって必然のある課題を設定したり、仲間と共に学びあえるような場を設定したりすることが、仲間と協働して学ぶ姿を生み出し、学びを定着することにつながる。

【研究内容】

1. 単元指導計画

- (1)生徒の実態をふまえた指導計画の作成
 - ①生徒の実態をふまえた付けたい力の明確化
 - ②一単位時間ごとの終末における生徒像の明確化
- (2)一単位時間の役割を明確にした単元構想図の作成

2. 一単位時間

(1)生徒が主体的に追究に向かうための、必然のある課題設定の工夫

(2)仲間と協働し、学びを深めるための展開の工夫

- ①仲間と協働する場の工夫
- ②協働するきっかけをつくる手立ての工夫

(3)学びの定着を見届けるための終末でのまとめの工夫

主体的で深い学び

(4)主体的で深い学びを支える見届け

学びの定着を図る全校での取組

- (1)朝学習、教科デーノート（家庭学習の充実）の活用
- (2)2分間学習による既習内容の確認

【研究計画】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
研究構想立案 研究内容共通理解	全校研究会 (社会)	全校研究会 (体育)	各教科における 授業実践	各教科における 授業実践	最高の授業 (全校研究会)
10月	11月	12月	1月	2月	3月
研究発表会 (全学級)	各教科における 授業実践	各教科における 授業実践	最高の授業 (全校研究会)	各教科における 授業実践	研究のまとめ 次年度に向けて

